

土台の欠損と敷き込み精度

年度	2006 年完成 (2006 年調査)
場所	埼玉県春日部市
構造	木造在来軸組工法
階数	2 階
延べ面積	136 m ²
用途	一戸建ての住宅

瑕疵の特徴

1. 建物全体にわたって、ホールダウンアンカーやアンカーボルト締め付け部の土台を欠損している。(写真 1、2、3)
2. 土台継ぎ手のかみ合わせ精度が悪く、土台が浮き上がっている所(段差)が複数箇所ある。(写真 2)

写真 1



写真 2

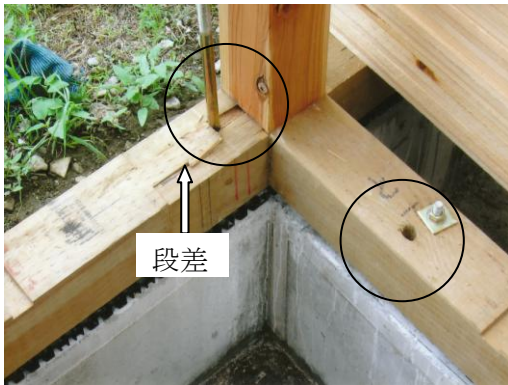


写真 3



解説

当該建物には、アンカーボルトの潜り過ぎによる欠損が 13 箇所、更に、芯ずれによる欠損が箇所が 3 箇所あった。これ等は、全て基礎工事の精度不良によるものであるが、土台を敷き込む前に基礎を修正すべきであり、土台を欠損してはならない。施行令第 42 条 2 項違反。

また、土台継ぎ手部のかみ合わせが悪く、土台の天端に段差が出来ている。これは、転ばし床が主流である現在、土台天端の段差は床の水平不良に繋がるものである。

従って、土台敷きに際しては、土台を段差なく敷き込み、更に、基礎パッキンの調整板等によって、土台天端を水平にすることが必須である。